

第 22 災害対策ワーキンググループ会議 議事録

日時：平成 30 年 5 月 10 日（木）21：00～21：15

場所：前橋市民文化会館 4 階会議室

出席：大谷、宮崎、山根、齋藤、八木原、岸和田

○災害時情報伝達訓練の打ち合わせについて

昨年を上回る参加施設数であり、関心の高さとメンバーの声掛けが功を奏した。各施設へは FAX にて簡易的な報告は完了している。昨年同様郵送で結果を送る。

10 月の関臨工での反省会が終了したら正式な報告書を発送する。

来年の災害対策研究会等で報告を行う。

☆今回の良かった点として

- ① メーリングリストを使用したことで連絡がスムーズだった。
- ② 昨年使用した集計表を活用したことで、本部の負担が少なかった。
- ③ 訓練開始時間が早かったことで、就業前に情報を書き込むことができた。

☆反省点

- ① 電話での催促は 1 件当たり 3 分～7 分程度要したため、もう少し時間を短縮できるように工夫していく。
- ② 訓練の手順を勘違いした施設が 2 件あり、群馬のメーリングリストに受け入れ情報を入力してしまった施設があった。しかし速やかに訂正していただいた。

○群馬県腎臓病患者連絡協議会主催 平成 29 年度医療懇談会について

平成 30 年 2 月 18 日（日）10 時より「群馬県の透析災害対策について」山根・齋藤で出席。・透析医療に関する災害対策について ・患者自身がする災害対策について ・透析医療の現状について (i-HDF について)

患者さん向け新聞及びたよりに掲載された。患者さんの関心が高まるとともに、技士会活動も理解されると考えられる。

○北関東災害対策交流会 4 月 7 日（土）中外製薬高崎営業所（高崎駅東口のイーストビル 9 階）、メンバー 4 名が参加。意見交換会 居酒屋ひろき 別紙報告書の通り

○医務課との予定について

6 月～7 月頃に県内での災害訓練について世話人メンバーで会議を行う。正式に完成したマニュアルが実際に役立つかの検証する訓練になると思われる。

○透析医会支部設立について

先日植木医師へ確認したが、猿木医師が動いているので詳細は不明とのこと。近々埼玉県の雨宮医師へ確認してみる。